

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院麻酔科及び虎の門病院分院麻酔科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間：2020年12月1日～2021年11月30日の間に、僧帽弁閉鎖不全症のために虎の門病院循環器センター外科に入院・通院し、手術を受けられた方

【研究課題名】

僧帽弁閉鎖不全症手術における希釈式自己血貯血の採血量が、周術期採血データに与える影響に関する研究

【研究の目的・背景】

《目的》

希釈式自己血貯血の採血量が、周術期の採血データに与える影響について検証いたします

《研究に至る背景》

希釈式自己血貯血は自分の血液を利用するため、他人の血液を利用する他家血輸血の使用率を減少させる副作用の少ないとても優れた方法です。しかし、過去の研究では、希釈式自己血貯血を実施したかどうかばかりに注目され、希釈式自己血貯血をどれだけの量実施したかに関する研究がありません。当科では、希釈式自己血貯血の容量に関するデータを検証することで、今後の診療に活かしていきたいと考えております。

【研究期間】

2022年2月3日～2026年12月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院分院 麻酔科（手術室内）において研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院・虎の門病院分院の院外へ提供する場合】

診療情報を提供する予定はございません。

【利用する診療情報】

診療情報： 年齢、性別、周術期採血結果（赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、フィブリノーゲン、血小板数、eGFR）、心エコー検査、手術情報（手術時間、手術手技内容、リスクスコア）、入院日数、ICU 滞在日数

【研究代表者】

虎の門病院分院 麻酔科 中村誠

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：麻酔科・手術部 玉井久義

研究機関の長：院長 門脇 孝

【虎の門病院分院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：麻酔科 中村誠

研究機関の長：分院長 宇田川 晴司

【利用する者の範囲】

虎の門病院および虎の門病院分院内の利用に限ります。

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2024年3月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】虎の門病院（本院）受診の方も下記にご連絡ください。

虎の門病院分院 麻酔科 中村誠

電話 044-877-5111(代表)